

2021年度会員アンケート調査 集計結果

<アンケート調査の概要>

■目的

- ・会員のロジスティクスの現状・課題調査
- ・今後の事業展開に向けた顧客ニーズ調査
- ・J I L S活動の評価確認

■調査方法

メール案内、WEB回答方式

■調査期間

2022年2月7日（月）～2022年2月18日（金）

■調査対象・回答状況

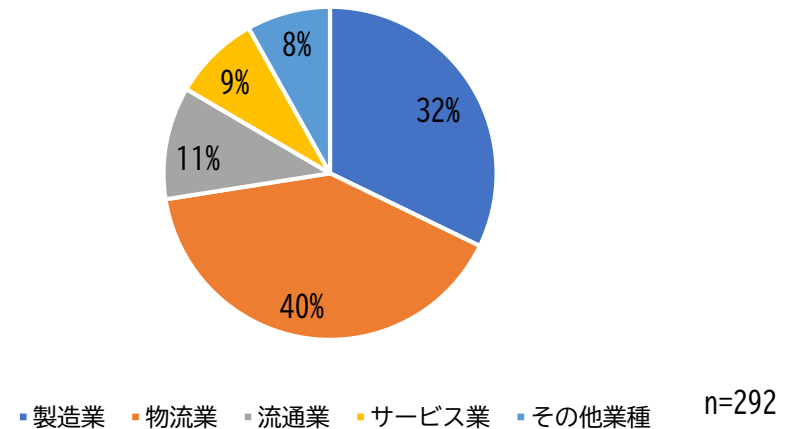
調査対象：法人会員 登録者（2,450名）
個人会員（55名）／計2,505名

回収状況：有効回答数 309名／292社
（回答率12.3%／31.1%）

※有効回答の定義

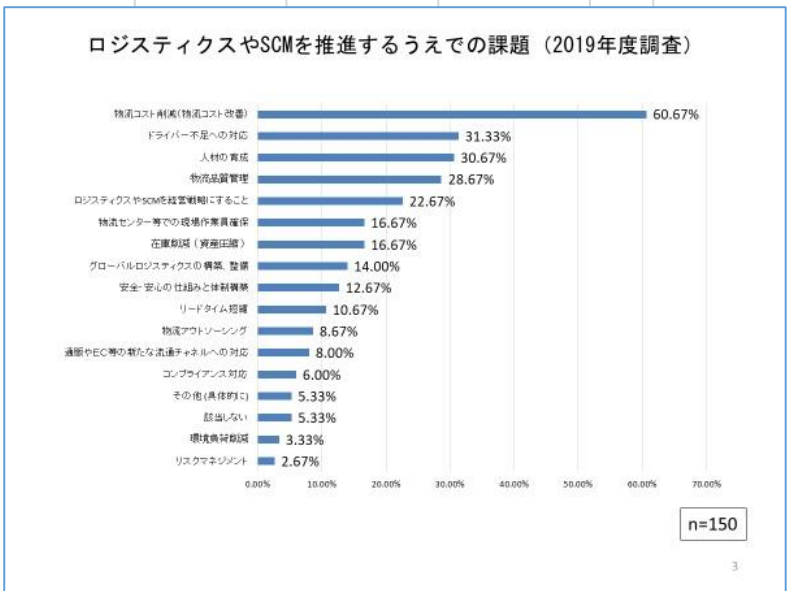
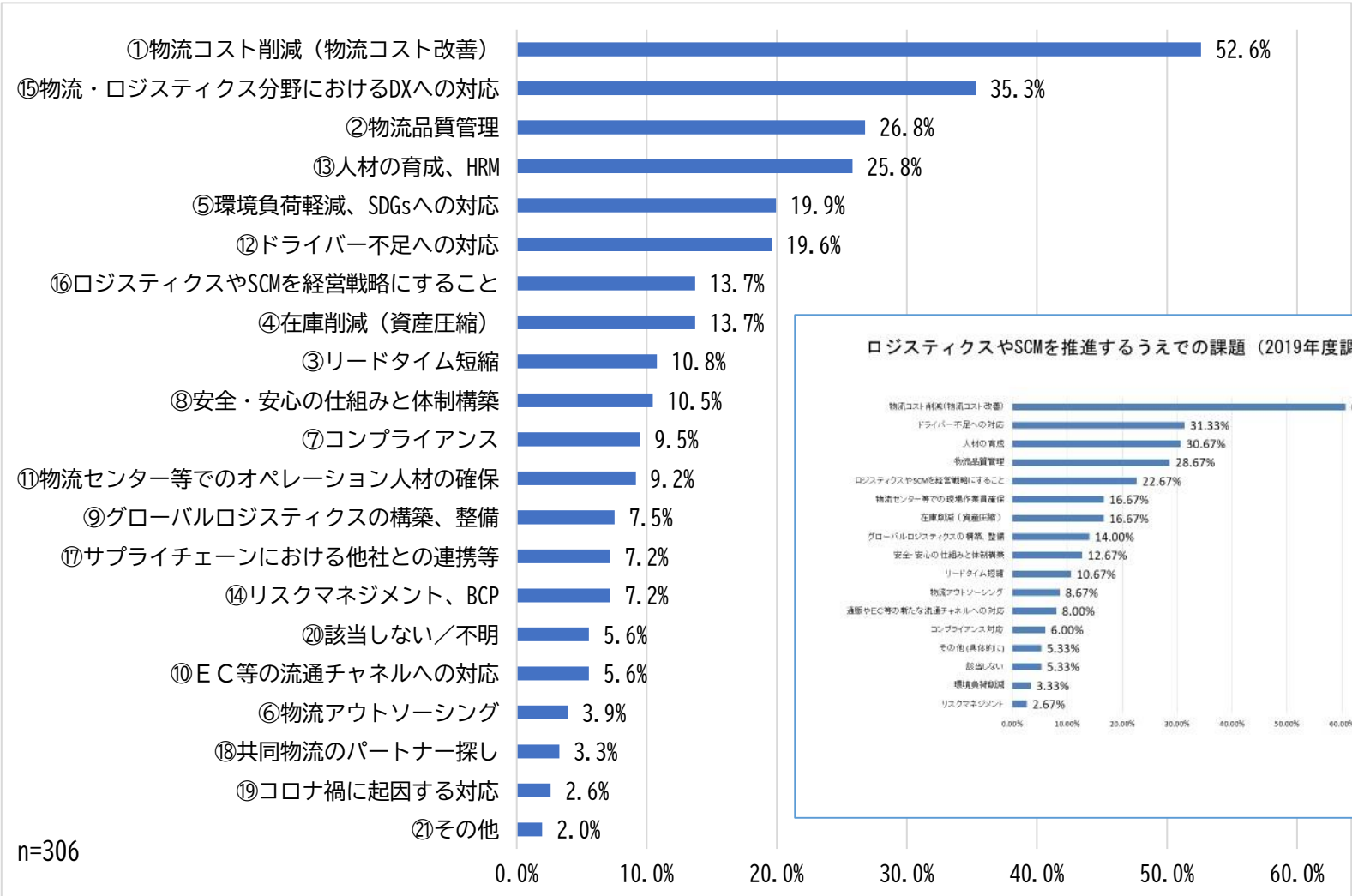
本調査では、回答者情報：業種、会社名、所属・役職、氏名、メールアドレスのいずれかに記入のあった回答を有効回答とし集計対象とした。

回答者業種



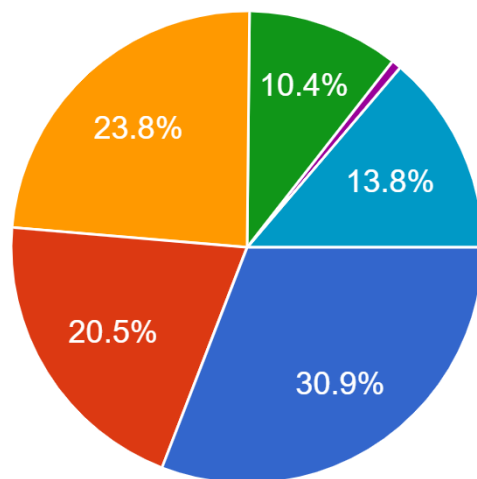
1-1. ロジスティクスやSCMを推進するうえでの課題

貴社もしくは物流・ロジスティクス・SCM部門において、ロジスティクスやSCMを推進するうえでの課題を3つまで、お選びください。



1-2. 自動化・省人化にむけた投資

物流・ロジスティクス分野における労働力不足に対応するため、自動化・省人化等への投資についてお聞かせください（1つ選択）。



- ①既に自動化・省人化に向けた投資を実施している
- ②自動化・省人化に向けた投資計画を検討中である
- ③自動化・省人化に向け検討しているが、具体的な計画立案までは至っていない
- ④自動化・省人化について関心があるが、検討はしていない
- ⑤自動化・省人化の必要はない
- ⑥該当しない/不明

1-4. サプライチェーン別課題

貴社の関わるサプライチェーンにおいて、課題がありましたらお聞かせください（自由記入）。

	サプライチェーンの品目名	課題
	飲料・酒類	取引先との商慣習 <ul style="list-style-type: none"> ・受注を受けてから配送のリードタイムが短い（受注翌日もしくは翌々日配送）。 ・午前中の納品が多い ・配送先時の待機時間が長い。車輛予約システムが機能していない場合もある。 ・付帯作業が多い。（荷下ろし・倉入れ倉出しなど） ・納品期限の緩和が進まない。 ・欠品に対する罰則がある一方で、返品が多い。
	飲料容器、飲料製品	着荷主の時間指定、予定変更
	加工食品	標準化、商慣行
	加工食品	環境負荷低減
加工食品	加工食品	海上輸送の混乱・コスト急騰に対して、安定供給の維持・確保、コスト悪化の抑制
	加工食品、家庭用品など	待機時間、付帯作業など
	加工食品、生鮮品、日配品、雑貨、資材	次世代業態へのチャレンジによるSKU増加と多品種少量化による非効率物流の増加。流通効率をとるのか？差別化をとるのか？
	加工食品・飲料	商習慣、物流共同化、製品仕様（内・外装）
	加工食品・飲料	グローバル物流の停滞による輸入LTの長期化、ビジネス拡大（EC部門など）による需給予測の複雑化、顧客のシステム導入（納品予約など）による複雑性の増加
	加工食品	物量波動
	食品	共同配送
	食品	配送リードタイムの延長・付帯作業の削減および改善

1-4. サプライチェーン別課題

	サプライチェーンの品目名	課題
	加工食品	共同配送、配送効率化、リードタイム、在庫拠点見直し
	加工食品	リードタイムを含む取引先との物流条件
	加工食品	永年の商慣習による軒先条件の継続
	加工食品	リードタイム延長や納品条件の改善に関して、なかなか得意先の理解が得られない
	加工食品	納品リードタイム延長、納品ロット
	加工食品	得意先様軒先における付帯作業、CO2削減、たださえドライバー不足なのに24年問題で更に問題が深刻化
	加工食品	商習慣（納品時付帯作業、納品待機時間の慢性的な長時間化）。納品先の増加に伴う少量多頻度納品。コロナ禍における納品物量の減少
	加工食品、飲料	物流効率化、在庫適正化、業務効率化、商慣習
	加工食品、菓子	リードタイム
加工食品	加工食品、菓子飲料品、家庭用品、冷凍食品、水産品	物流コスト削減 人材の育成 DXの対応
	加工食品	2024年問題に対応する拠点作り、PL輸送化、物流標準化アクションプランへの取組、DX化
	菓子等	ドライバー、備車の確保、ドライバーの長期就業、リードタイムの変更 前日1便発注→前々日1便発注, エリア共配の拡大, SDGs 関係全般
	飲料・食品	伝票類の簡素化・ペーパーレス化
	食品全般	納入先の厳しい時間指定
	冷凍・冷蔵食品	物流共同化
	冷凍・冷蔵食品	倉庫の老朽化問題による環境・維持費軽減可能な倉庫の不足
	冷凍品	保管・輸送
	保冷商品	各国品質要求への保管・輸送対応
	水産製品	大消費地との物理的な距離。
	酒類	食品卸や小売店での荷降ろし待機時間や商品納入期限（3分の1ルールなど）

2021年度会員アンケート集計結果報告 (5/15)

1-4. サプライチェーン別課題

	サプライチェーンの品目名	課題
加工食品	飲料容器、飲料製品	着荷主の時間指定、予定変更
	加工食品	標準化、商慣行
	加工食品	環境負荷低減
	加工食品	海上輸送の混乱・コスト急騰に対して、安定供給の維持・確保、コスト悪化の抑制
	加工食品、家庭用品など	待機時間、付帯作業など
	加工食品・飲料	商習慣、物流共同化、製品仕様（内・外装）
	小麦粉・加工食品	納品リードタイム延長、他社との共同物流、物流における食品安全レベル向上
	サプライチェーンの品目名	課題
医薬・医療機器	医薬品等	物量波動予測と適正工数配置
	医薬品	温度管理
	医療機器	顧客誘致
	サプライチェーンの品目名	課題
精密機器	情報機器	国際輸送問題によるリードタイム長期化
	精密機械部品類	適正在庫と適時物流モードのバランス
	電子材料	頻度調達
	半導体	コロナ禍における物流CAPA確保と物流費抑制
	電子部品	日本⇔海外物流の国内部分の共同配送
	電子部品	グローバルでの情報収集（見える化）の難しさ
	電子部品、精密機械	積み付け・積降等の付帯業務の発生
	半導体関連	サプライチェーン混乱

1-4. サプライチェーン別課題

	サプライチェーンの品目名	課題
日雑等	日用雑貨	配送関連に関する今後の見通しと共同配送(拠点倉庫への配送)を考える必要があるが各社の配送コストの違いや商品の混載可否等もありどの様に進めるべきかが課題。
	家庭用雑貨	荷役作業、待機時間
	雑貨、アパレル、家具など	共同配送
	日用雑貨	物流部門に関する機械化・自動化に対して投資を行うことことに理解を得ることが難しい。
	日用雑貨	物流標準化による共同化と共同化の推進役が不在、商慣習の見直し、物流コストの見える化
	日用雑貨	納品先での自主荷役、手卸し作業、待機時間の長さ
	日用雑貨	納品リードタイム厳守とローコスト化の両立
	家具類	組立配送リソースの不足
	事務用品	物流共同化
	家具等	静脈(メンテナンス)物流整備。エンドユーザーへの直接配送網整備・充実。
	アパレル、グッズ	直営店以外のチャンネルもあるため、MDプランに合わせたサプライチェーンの実施に苦慮
	アパレル、雑貨商品	外資系の得意先の場合、本国の仕組みや考え方を押し付けてくる。
	アパレル品	予実管理
日用雑貨	商慣習、消費期限管理(ロス対策)、廃プラ関連、脱炭素、人道関連	
	サプライチェーンの品目名	課題
電機	一般電気機器	店頭販売からwebでの販売へと変化している状況で自社で出来る物流対策はどんなことがあるのか。
	一般電気機器	国際物流の混乱
	家庭用エアコン	需給調整

1-4. サプライチェーン別課題

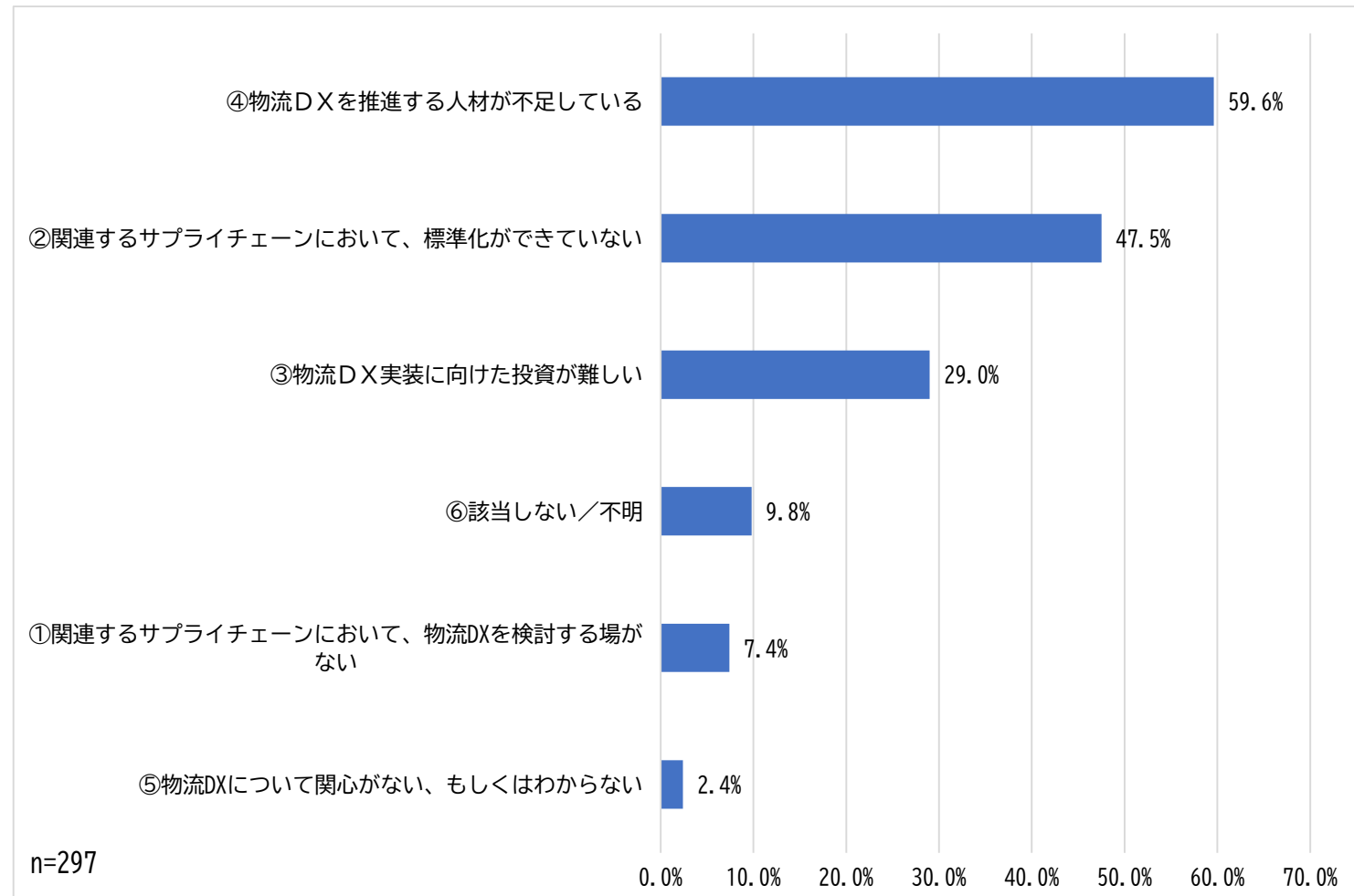
	サプライチェーンの品目名	課題
自動車	自動車	物流コスト増
	自動車部品	生産計画を含めた物流リードタイムの改善
	自動車および生産部品	自動化による省人化、DX推進、船腹安定確保他
	自動車部品	海外客先向けVMIの検討
	自動車部品	複数の海外顧客との製品在庫、リターナブルパレット、リターナブル容器の精度の高い在庫情報の共有。および洋上在庫のLTの把握と流動在庫までのプロセス管理
	自動車部品	専用梱包仕様
	自動車部品	グローバル輸出入業務の安定化
	自動車部品	少量出荷品の最適化
	自動車部品および原材料	3pl 4plの有効活用
	サプライチェーンの品目名	課題
素材系	化学品	エンドユーザーの販売動向の予測が難しい
	樹脂	他社との共同輸送など
	化学品	効率化
	危険物	危険物配送、設備管理
	鉄鋼製品	環境変化への迅速な対応、生産性の向上 など
	鉄鋼製品	・船員・乗務員の働き方改革、労働時間管理の適正化に向けた荷主としての具体的な対応、関わり方 ・物流業界の多重構造（分業化・許可制度・商習慣・中小事業者割合多）から一貫物流の効率化に向けた取組みが進みにくい
	製品を構成する原料部資材	製品の生産計画と連動していない
	ガラス	輸送力確保

1-4. サプライチェーン別課題

	サプライチェーンの品目名	課題
その他	建築資材	物流共同化
	建築資材	共通バーコードがなく、目視確認のため検品精度が低い。 商物分離（商材費と物流費）ができていない。
	海外調達品	長納期、供給不安
	出版物	歴史ある業界故に古くからの商慣習、版元・問屋・販売店がバラバラ
	農産物	商慣習（JA統合により運賃交渉が難航）

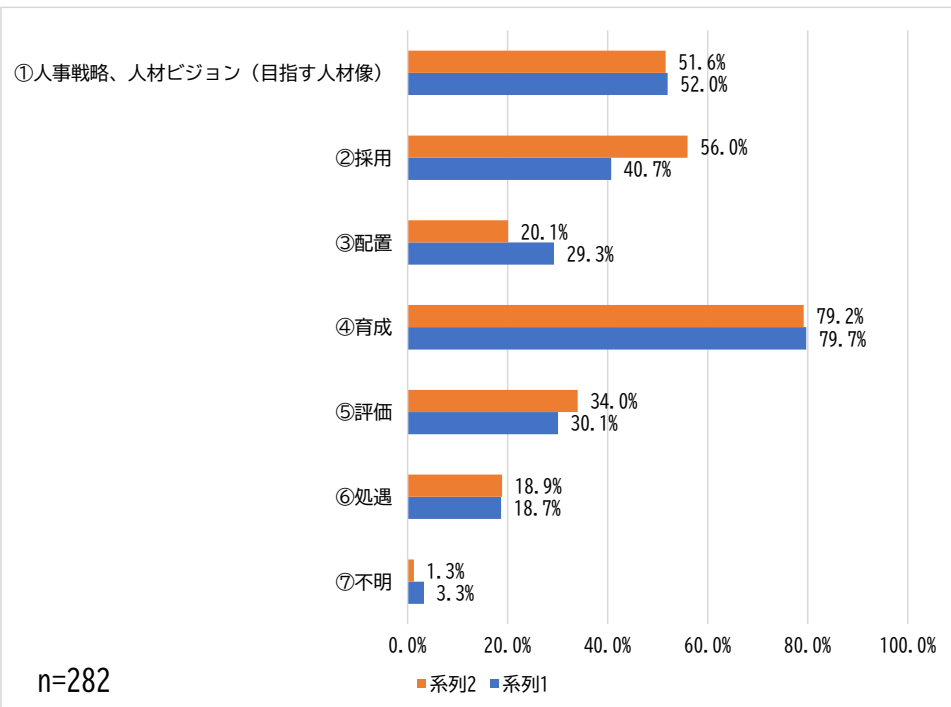
1-5. 物流・ロジスティクス分野におけるDXの課題

物流・ロジスティクス分野におけるDX（機械化・デジタル化を通じて物流のこれまでの在り方を変革すること）について、課題をお聞かせください（複数選択可）。



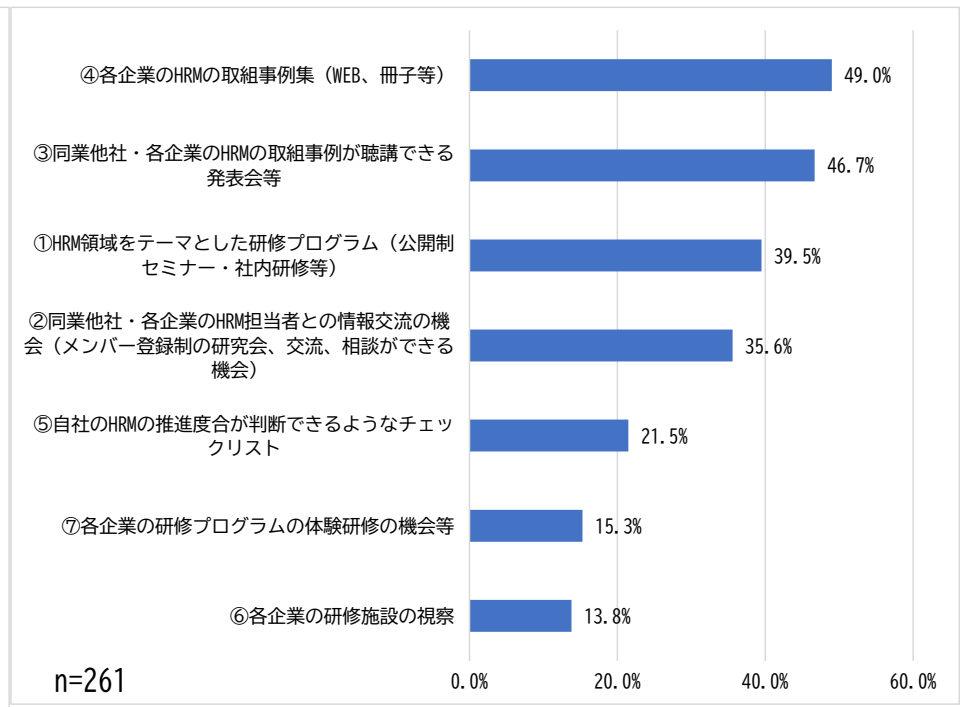
1-6. HRMの主な課題領域

貴社の物流・ロジスティクス・SCM部門のHRMに関する主な課題領域をお聞かせください（複数選択可）。



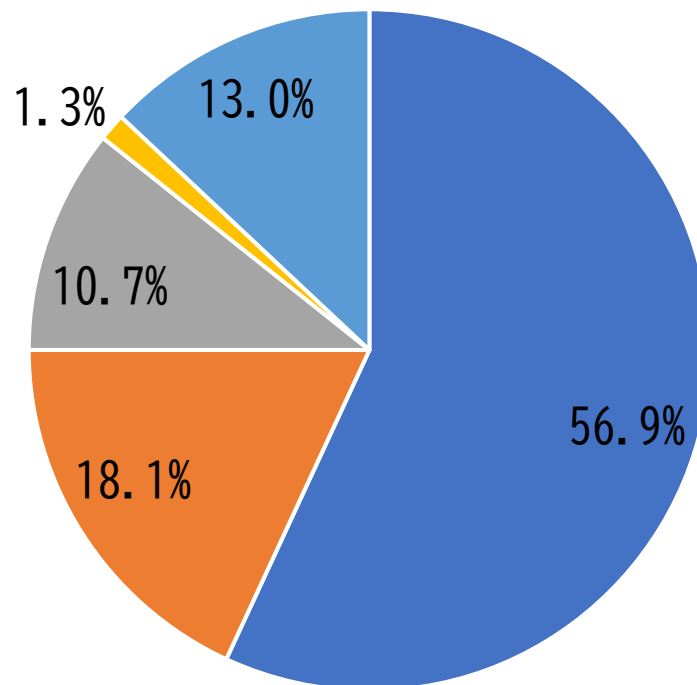
1-7. HRMに関する希望する事業提供

HRMの課題領域についてどのような事業提供を希望されているかお聞かせください（複数選択可）。



1-8. 物流改善活動の状況

コロナ禍における物流改善活動への取り組み状況について、お聞かせください（どれか1つ）。

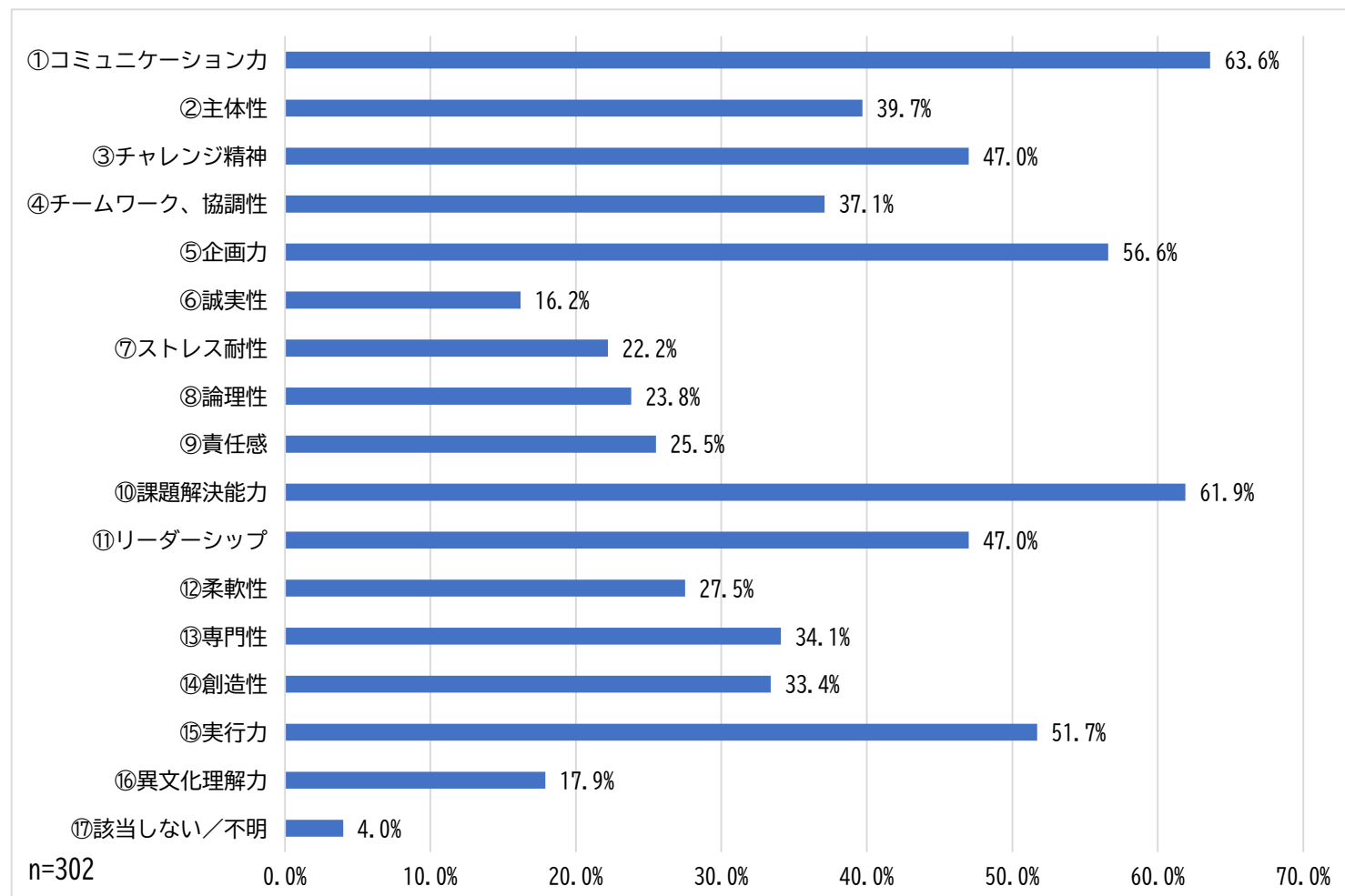


- ①これまで物流改善に取り組んでおり、コロナ禍においても例年通り活動を進めている
- ②これまで物流改善に取り組んでいたが、コロナ禍により、社内改善発表会等のイベントは中断している
- ③これまで物流改善に取り組んでいたが、コロナ禍によって日頃の改善活動そのものが停滞または中断している
- ④これまで物流改善に取り組んだことはない
- ⑤該当しない/不明

n=299

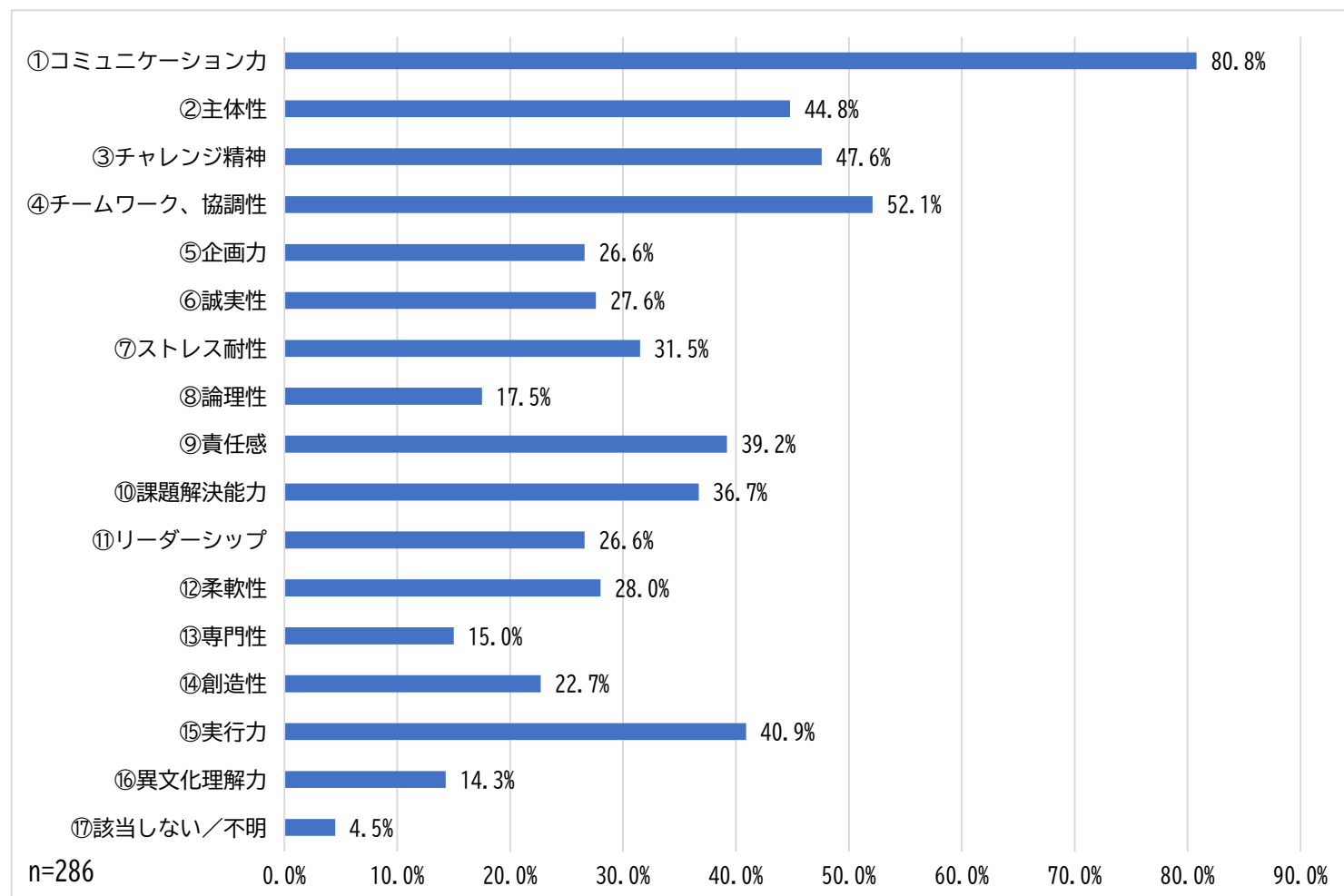
1-9. 今後、より必要となると思われる社員の資質

貴社もしくは物流・ロジスティクス・SCM部門において、今後、より必要となると思われる社員の資質・能力について、お聞かせください（複数選択可）。



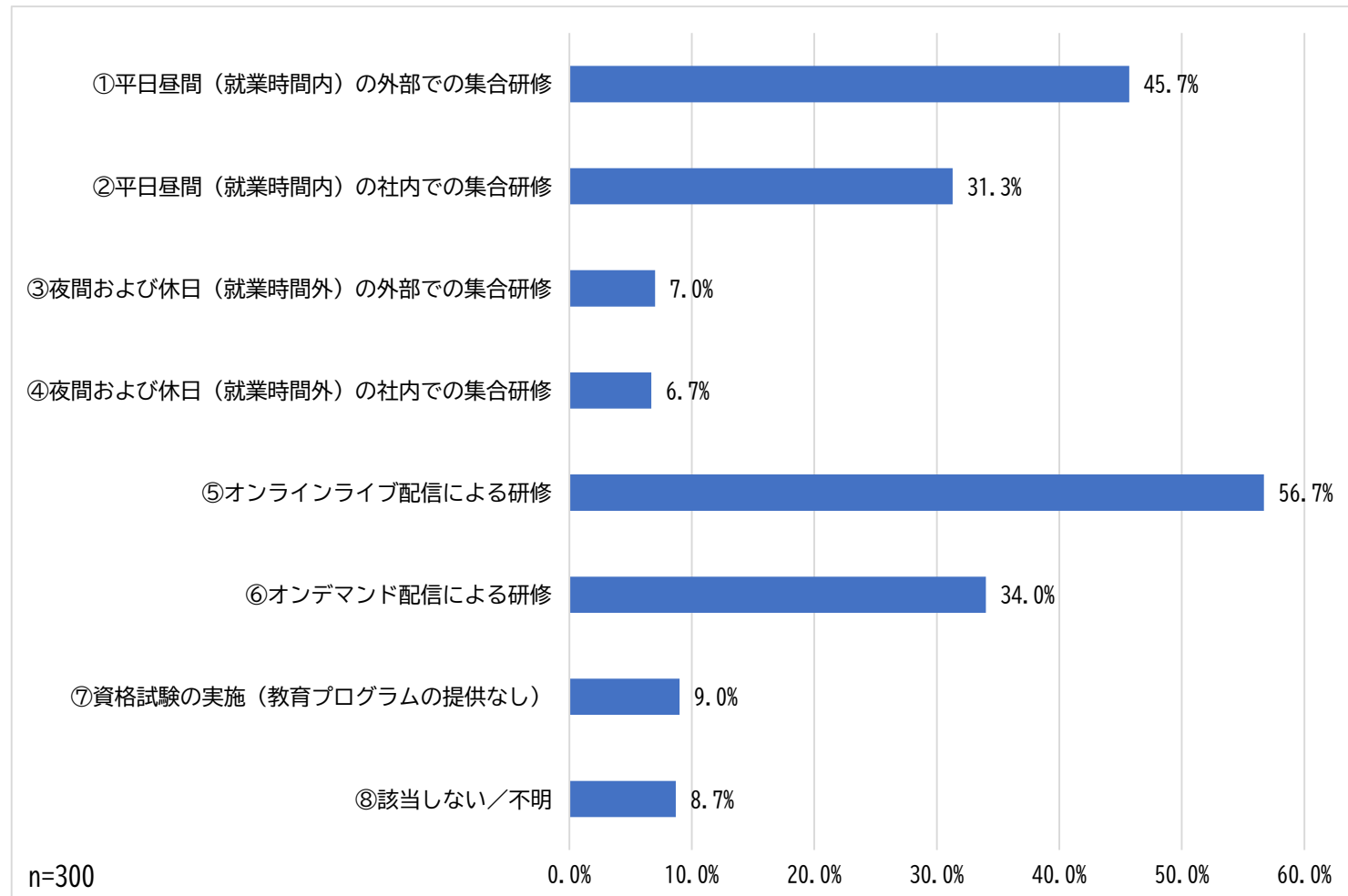
1-10. 新卒採用学生に求める資質

新卒採用において、貴社もしくは物流・ロジスティクス・SCM部門では、学生（大学生・大学院生）にどんな資質・能力を求めていますか（複数選択可）。



1-11. 希望する教育プログラムの受講スタイル

教育プログラムを受講（もしくは派遣）する際、どのような実施形式を望めますか（複数選択可）。



1-12. 会員として感じているメリット

JILSについてお尋ねします。

貴殿がJILS会員として感じているメリットはありますか？ 次の中から最も当てはまるものをお選びください（複数選択可）。

